

2021 年 12 月 24 日
株式会社紀伊國屋書店

「紀伊國屋じんぶん大賞 2022 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表

株式会社紀伊國屋書店（代表取締役会長兼社長 高井 昌史）はこのたび、「紀伊國屋じんぶん大賞 2022 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表いたします。

「読者の皆さまと共に優れた人文書を紹介し、魅力ある『書店空間』を作っていきたい」——との思いから立ち上げた「紀伊國屋じんぶん大賞」は、今年で 12 回目を迎えました。

おかげさまで、本年もたくさんのご応募と推薦コメントをお寄せいただきました。一般読者の方々からいただいたアンケートを元に、出版社、紀伊國屋書店社員による推薦を加味して事務局にて集計し、ベスト 30 を選定いたしました。

※2020 年 12 月～2021 年 11 月に刊行された人文書を対象とし、2021 年 11 月 1 日～11 月 30 日の期間に読者の皆さまからアンケートを募りました。当企画における「人文書」とは、「哲学・思想、心理、宗教、歴史、社会、教育学、批評・評論」のジャンルに該当する書籍（文庫・新書も可）としております。

◆紀伊國屋じんぶん大賞 2022 読者と選ぶ人文書ベスト 30

1 位	東京の生活史	岸政彦（編）	筑摩書房
2 位	愛と差別と友情と LGBTQ+ 言葉で闘うアメリカの記録と 内在する私たちの正体	北丸雄二	人々舎
3 位	言語学バーリ・トゥード Round 1 AI は「絶対に押すな よ」を理解できるか	川添愛	東京大学出版会
4 位	誰がために医師はいる クスリとヒトの現代論	松本俊彦	みずず書房
5 位	<責任>の生成 中動態と当事者研究	國分功一郎／熊谷晋一郎	新曜社
6 位	実力も運のうち 能力主義は正義か？	マイケル・サンデル／鬼澤忍	早川書房
7 位	アメリカンビレッジの夜 基地の町・沖縄に生きる女たち	アケミ・ジョンソン／真田由美 子	紀伊國屋書店
8 位	中国料理の世界史 美食のナショナリズムをこえて	岩間一弘	慶應義塾大学出版会
9 位	くらしのアナキズム	松村圭一郎	ミシマ社
10 位	ケアの倫理とエンパワメント	小川公代	講談社
11 位	精神分析の歩き方	山崎孝明	金剛出版

12 位	「論理的思考」の社会的構築 フランスの思考表現スタイルと言葉の教育	渡邊雅子	岩波書店
13 位	書き取りシステム 1800・1900	フリードリヒ・キッラー／大宮勘一郎・石田雄一	インスクリプト
14 位	働くことの人類学【活字版】 仕事と自由をめぐる8つの対話	松村圭一郎／コクヨ野外学習センター	黒鳥社
15 位	ヒッピーのはじまり	ヘレン・S・ペリー／阿部大樹	作品社
16 位	心はどこへ消えた？	東畑開人	文藝春秋
17 位	犬神家の戸籍 「血」と「家」の近代日本	遠藤正敬	青土社
18 位	僕たちはどう生きるか 言葉と思考のエコロジカルな転回	森田真生	集英社
19 位	私はいま自由なの？ 男女平等世界一の国ノルウェーが直面した現実	リン・スタルスベルグ／枇谷玲子	柏書房
20 位	プロテストってなに？ 世界を変えたさまざまな社会運動	アリス&エミリー・ハワース＝ブース／糟野桃代	青幻舎インターナショナル
21 位	言葉をもみほぐす	赤坂憲雄／藤原辰史	岩波書店
22 位-1	災厄と性愛 小泉義之政治論集成 I	小泉義之	月曜社
22 位-2	闘争と統治 小泉義之政治論集成 II	小泉義之	月曜社
23 位	親鸞とマルクス主義 闘争・イデオロギー・普遍性	近藤俊太郎	法蔵館
24 位	囚われのいじめ問題 未完の天津市中学生自殺事件	北澤毅／間山広朗	岩波書店
25 位	海賊共和国史 1696-1721 年	コリン・ウッダード／大野晶子	パンローリング
26 位	平成史 ― 昨日の世界のすべて	與那覇潤	文藝春秋
27 位	社会科学の哲学入門	吉田敬	勁草書房
28 位	マザリング 現代の母なる場所	中村佑子	集英社
29 位	水中の哲学者たち	永井玲衣	晶文社
30 位	みんな政治でバカになる	綿野恵太	晶文社

◆紀伊國屋じんぶん大賞 2022 フェアは、2022 年 2 月 1 日（火）より開催予定です。選考委員および読者からの推薦コメントを掲載した小冊子を店頭にて配布いたします。詳細は各店舗にお問い合わせください。

詳細はこちら https://store.kinokuniya.co.jp/event/jinbun2022_20211224/

リリースに関するお問い合わせ先:株式会社 紀伊國屋書店 総務部 広報担当 info@kinokuniya.co.jp